

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-1 多様な自然の保全
---------	------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	自然環境課長 齋藤 晃大	電話番号	0852-22-5346
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	自然環境保全地域の保全事業		
目的	(1) 対象	自然環境保全地域の自然	
	(2) 意図	優れた自然環境を保全するため、自然環境保全地域を指定し、多様な生態系を守る。	
事業概要	自然環境保全地域の適正な保全を図るため、地元の保護育成団体に管理を委託するとともに、自然保護指導員を配置し、パトロール等を実施		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	自然環境保全地域の数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		6.00	6.00	6.00	6.00	
式・定義	自然環境保全地域の数	自然環境保全地域の数	実績値	6.00	6.00	6.00	6.00		
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	自然環境保全地域の数	自然環境保全地域の数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義	自然環境保全地域の数	自然環境保全地域の数	実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	959	988
うち一般財源(千円)	959	988

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

成果目標はすでに達成しており、保全地域の維持管理は地元の育成会に委託している。一部の自然環境保全地域（赤名湿地）については、地元育成会と連携してボランティアを募り、草刈り等の保全活動を毎年1回実施している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

自然環境保全地域6地域について、維持管理と巡視活動を実施し、自然環境の保全が図られた。赤名湿地については、41名の参加を得て、草刈り等の保全活動を実施した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
地元育成会のメンバーや保護巡視員が高齢化していることから、今後の活動に支障が生じる恐れがある。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
保護活動は地域の住民が主体となって実施しているため、地域の人口減少、高齢化に伴い、担い手が減少している。
- ③原因を解消するための「課題」  
地域外のボランティアへの自然保護活動参加への働きかけ

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

自然環境保全地域の適切な管理を継続するためには、自然環境の保全に対する県民理解の醸成並びに、地元育成会と連携しながら新たな保護ボランティアを広く呼びかける必要がある。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）